

新たな事業領域への挑戦を社員みんなで行き組む体制構築

会社名 ヤマコー株式会社
 所在地 大阪府東大阪市加納4丁目3番26号
 従業員 32名
 資本金 4,500万円
 売上高 8億2,600万円
 業種 鍛造部品(熱間・冷間・複合鍛造・機械加工)・CFRP熱可塑成型製品の製造販売



支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- ヤマコーの技術をいかしたブランドを構築し、受託生産のみに依存する体制から脱却するために、コアとなるCFRTP事業の事業戦略やビジネスモデルを明確化する。また、知的財産戦略を構築するベースとなる考え方や手法を習得する。

支援を受けてできるようになったこと

After

- CFRTP素材による製品開発の方向性が整理されるとともに、具体的な製品開発に向けたロードマップを描くことができた。
- 新規製品開発・販売に際して、営業秘密管理や契約上の留意点を理解するとともに、以後の相談・連携先についても明確にすることができた。
- 経営層以外に技術情報が共有され、商品開発プロセスを習得されたことで、社員みんな商品開発・製造に取り組める体制を作ることができた。

今後の事業展開の展望

Future

- CFRTP素材を用いたBtoC製品を開発・販売していくことで、従来のBtoB製品に対してもシナジー効果を発揮し、ヤマコーブランドを確立していきたい。
- 社内で継続的に新製品を企画・開発できる体制を整備していきたい。

加速的支援を受けた事業や商材

CFRTP等の複合材を使用した製品例(左):強く厚みがあるにもかかわらず軽量の製品を製造することが可能。

当社のコア技術が発揮された鍛造製フライパンがLIFE×DESIGNアワードを受賞。(下)





加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
CFRTP事業の事業戦略・ビジネスモデルの検討	CFRTP事業の位置づけを確認し、知財動向や市場環境も踏まえ、方向性やビジネスモデルを明確化する必要がある。
事業戦略に沿った開発戦略の検討	マーケットイン型の製品開発手法を習得するとともに、外部と連携しながら、開発を推進できる体制を構築する必要がある。
事業戦略・開発戦略を踏まえた知財戦略の策定	ノウハウと権利化切り分け及び知財ポートフォリオを形成し、事業を保護するとともに、事業推進上の手段として活用する方針(知財戦略)の検討を進める必要がある。
CFRTP事業のマーケティング戦略の検討	ターゲット顧客の設定、顧客に対する製品の価値提示など、ブランドの活用を含め、売れる仕組みを作ることが重要である。
CFRTP事業立上げに向けた契約と営業秘密の管理体制の整備	リスクを抑えて事業展開するためには、外部パートナーとの契約やノウハウ・営業秘密の適切な管理ができる社内体制の整備が必要である。



加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと

支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
CFRTP事業の事業戦略・ビジネスモデルの検討	<ul style="list-style-type: none"> 当社の事業中のCFRTP事業の位置づけや展開目的が整理された。 当社技術の強みや差別化ポイントが明確化され、事業の方向性を整理することができた。 	中小企業診断士、ブランド専門家
事業戦略に沿った開発戦略の検討	<ul style="list-style-type: none"> 製品開発プロセスを学び、製品化に向けた各種課題を明確化することができた。 社内の製品開発体制を整備することができた。 	中小企業診断士、ブランド専門家
事業戦略・開発戦略を踏まえた知財戦略の策定	<ul style="list-style-type: none"> 技術の棚卸しを行うとともに、特許出願等の知財戦略の考え方を理解することができた。 	中小企業診断士、知財戦略EX
CFRTP事業のマーケティング戦略の検討	<ul style="list-style-type: none"> 展示会・ギフトショー等を活用した製品や技術のプロモーション方法を理解できた。 デザインの考え方、デザイナーの活用方法を理解することができた。 	中小企業診断士、ブランド専門家
CFRTP事業立上げに向けた契約と営業秘密の管理体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 契約締結にあたっての留意点や交渉するべきポイント、対応策等の考え方を理解することができた。 	中小企業診断士、知財戦略EX

支援チーム紹介

主担当専門家: 中小企業診断士 田中和男

活用専門家: 中小企業診断士、ブランド専門家、知財EX

知財総合支援窓口担当者: 大阪府知財総合支援窓口 大野 健造

PO(プログラムオフィサー): 中山 和彦、菱田達也